

令和7年司法試験 合格体験記

令和7年度在学中受験(未修コース) 中居 潤稀

未修20期の中居潤稀と申します。はじめに、これまで私を支えてくださった親族、友人、諸先生方、すべての皆様に心より感謝申し上げます。

受験勉強は、一見すると孤独な闘いのように感じます。しかし、実際には金銭的な援助や精神的な励ましなど、目に見えない多大なる支援の上に成立するものです。司法試験合格という結果は、決して一人で掴み取ったものではなく、日々数多くの支援の上で成し遂げられたものであることを改めて実感しています。今後は、皆様からいただいたこの御恩を、法曹としての活動を通じて社会に還元していく所存です。

僭越ながら、これから試験に臨まれる方へメッセージを送らせていただきます。司法試験を目指す道は、時にしんどく、苦勞の連続かもしれません。しかし、しんどいと思うのは、それだけ価値のある目標に挑んでいるからです。疲勞を感じるのは、それだけ努力した証拠であり、不安になったり精神的に不安定になったりするの、それだけ心血を注いできたという証です。苦勞するだけのことを成し遂げているということです。

時には、できないことに目を向けて落ち込むこともあるかもしれません。ですが、昨日の自分より今日の自分の方が、一步前へ進んでいることは間違いありません。どうか、小さな成長を見逃さず、自分を褒めながら歩みを進めてください。

岡大ロースクールには、熱心な講義や先生方の丁寧なご指導、そして共に切磋琢磨できるゼミなど、勉強に打ち込める環境が整っています。限られた時間の中で、何を成し遂げるかは自分次第です。

皆様の合格を、心より願っております。